

動物実験に関する自己点検・評価報告書

熊本大学

平成21年3月

・ 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「熊本大学動物実験等に関する規則」、「実験動物と動物実験に関する規則集 2007」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 問題無し
4) 改善の方針

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「熊本大学動物実験等に関する規則」、「実験動物と動物実験に関する規則集 2007」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 問題無し
4) 改善の方針

3. 動物実験の実施体制

（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか？）

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「熊本大学動物実験等に関する規則」、「熊本大学動物実験計画書」、「動物実験施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「実験動物と動物実験に関する規則集 2007」

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 問題無し
4) 改善の方針

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められている。 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 該当する動物実験の実施体制が定められていない。 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 (1) 病原体の感染動物実験・・・「熊本大学生命資源研究・支援センター動物資源開発研究施設使用心得」、「熊本大学生命資源研究・支援センター動物資源開発研究施設の新館の使用心得」、「ヒトアデノウイルスベクターを用いた動物接種実験のガイドライン」、「熊本大学エイズ学研究センター 2 階安全度 3 感染動物実験室利用マニュアル」 (2) 有害化学物質の投与動物実験・・・「熊本大学生命資源研究・支援センター動物資源開発研究施設使用心得」、「熊本大学生命資源研究・支援センター動物資源開発研究施設有害物質投与動物実験実施要項」 (3) 遺伝子組換え動物を用いる実験・・・「熊本大学遺伝子組換え生物等第二種使用等安全管理規則」、「遺伝子改変マウス作製及び供給に関する使用案内」、「遺伝子改変マウス胚/精子の凍結保存及び供給に関する利用案内」 (4) その他・・・「熊本大学本荘・大江地区実験動物安全管理委員会規則」、「熊本大学本荘・大江地区における腎症候性出血熱のための安全管理規則」
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 問題無し
4) 改善の方針

5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

1) 評価結果 ☑ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 (1) 「動物実験施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」 (2) 熊本大学における「動物実験施設設置承認申請書」に関する動物実験委員会での判断基準 (3) 熊本大学における「実験室設置承認申請書」に関する動物実験委員会での判断基準
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 問題無し
4) 改善の方針

6. その他(動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

特に無し

. 実施状況

1. 動物実験委員会

(動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?)

1) 評価結果 ☑ 基本指針に適合し、適正に機能している。 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 (1) 動物実験委員会の開催日時及び審議内容の記録 (2) 「熊本大学動物実験計画書」、「動物実験施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」の調査・審議内容の記録 (3) 熊本大学における「動物実験施設設置承認申請書」に関する動物実験委員会での判断基準 (4) 熊本大学における「実験室設置承認申請書」に関する動物実験委員会での判断基準 (5) 教育訓練の実施日、教育内容、受講者数の記録

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 問題無し
4) 改善の方針

2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 (1)「熊本大学動物実験計画書」、「動物実験中止・完了報告書」 (2)「熊本大学動物実験計画書」に対する動物実験委員会での審査内容の記録 (3)動物実験より得られた成績(論文)の報告書
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 問題無し
4) 改善の方針

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 多くの改善すべき問題がある。 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 (安全管理上の事故等があれば、事故記録を対象とする) (1)「熊本大学動物実験計画書」、「動物実験施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」 (2)熊本大学における「動物実験施設設置承認申請書」に関する動物実験委員会での判断基準 (3)熊本大学における「実験室設置承認申請書」に関する動物実験委員会での判断基準
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 問題無し
4) 改善の方針

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か？ 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか？)

1) 評価結果

- ☑ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- (1) 飼養保管手順書・・・「動物資源開発研究施設・本館及び新館における標準操作手順書」
「アイソトープ総合施設における動物実験に係る手順」、「黒髪南地区哺乳動物飼育棟使用心得」、その他の動物実験施設における飼養保管手順書
- (2) 各種マニュアル・・・「動物資源開発研究施設・微生物モニタリングマニュアル」、「動物資源開発研究施設・マウス生殖工学技術マニュアルCD」、「動物資源開発研究施設・空調設備その他の運転及び設備管理業務の業務内容」、「動物資源開発研究施設・実験動物飼育ケージ洗浄及び清掃業務内容」、「動物資源開発研究施設・事務管理業務」
- (3) 関連書類・・・「導入時検疫関連書類」、「入手先関連書類」、「飼育履歴関連書類」、「病歴関連書類」、「輸送関連書類」、「空調関連書類」、「連絡網関連書類」

3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)

- (1) 飼養保管施設ごとに実施した自己点検・評価時には、動物資源開発研究施設・新館及びその他の一部の飼養保管施設における飼養保管手順書について、手順書が未整備あるいは記載内容に不備な点があったが、その後の大学としての自己点検・評価時には改善されていた。
 - (2) 実験動物が逸走した場合の対応策や連絡体制の内容に不備な点があったが、大学としての自己点検・評価時には改善されていた。
- 以上のことから、未整備あるいは不備な点については全て改善されており、問題無しと評価した。

4) 改善の方針

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか? 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 (1) 熊本大学における「動物実験施設設置承認申請書」に関する動物実験委員会での判断基準 (2) 熊本大学における「実験室設置承認申請書」に関する動物実験委員会での判断基準
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 老朽化した動物資源開発研究施設・本館の空調設備の改修工事
4) 改善の方針 改修工事を実施するためにこれまで継続的に概算要求を行ってきたところ、平成 21 年度概算要求が採択されたことから、同年度内に改修工事を実施予定。

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 (1) 教育訓練の実施日、受講者氏名の記録 (2) 教育訓練に用いた「動物実験の手順等に関するテキスト」、「実験動物と動物実験に関する規則集 2007」、「熊本大学動物資源開発研究施設のパフレット」
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。) 問題無し
4) 改善の方針

7. 自己点検・評価、情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に実施されている。 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 <u>(1) 自己点検・評価</u> ・・・今回初めての自己点検・評価を実施しており、その結果は情報公開の予定 <u>(2) 関連事項の情報公開</u> ・・・「熊本大学における実験動物と動物実験に関する規則」、「熊本大学におけるその他の主要な実験動物と動物実験に関する規則」、「各種様式」、「平成 19 年度実績」については、熊本大学のホームページにおいて情報公開済み
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 問題無し
4) 改善の方針

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

特に無し
